

平成27年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中央図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：坂井輪図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
ネットワーキング型図書館	◆全館共通評価項目 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス・所蔵調査の件数が、西区で6,958件だったところ16,565件に増加した。(坂井輪：2,869件が11,739件 黒埼：1,970件が2,730件) ・内野図書館では微減となった。	・坂井輪図書館は、区役所や自治協議会等で挙げられた課題をレファレンスとして受け付け、情報提供を行うことができた。 ・レファレンス事例を蓄積し、情報共有を図った。 ・内野図書館では、施設が狭隘であることから減少した。	3 大変評価する。 87.5% 2 ある程度評価する。 12.5% 1 評価できない。	・取り組みの結果、レファレンス件数が大きく増加した。 ・市内の各図書館・図書室が個性を持つことは重要だが、格差が生じないような対応も必要である。 ・内野図書館の「自由研究や夏休みの宿題をお手伝いします」という棚があり、良いレファレンス利用のきっかけにもなった。 ・実際に自分も何度かレファレンスを利用した。内容はもちろん、スタッフの対応・態度が素晴らしい。もっとPRして利用者を増やしていただきたい。 ・内野図書館は模様替えやレイアウトを変えてみるとかもう少し明るい雰囲気にならないか。
	◆館の重点評価項目 レファレンスサービスのPR	レファレンスサービスのPRに努める。	・坂井輪図書館では、レファレンス専用カウンターにより、きめ細かい対応を行うことができた。 ・黒埼図書館では、レファレンスのPRのために、コーナーを設け、過去の事例の掲示などを行った。	・窓口で声をかけやすいような雰囲気づくりを心掛けた。 ・黒埼図書館では、事例を掲示することによって、気軽に質問してもらえるようになった。	3 大変評価する。 87.5% 2 ある程度評価する。 12.5% 1 評価できない。	・PRの内容、方法を更に充実させていくとよい。 ・レファレンス専用カウンター横にレファレンスPRの掲示があるが、「調べ物お手伝いします」の文言のほうが、気軽さと親しみやすさがあり、より利用のハードルが下がると思う。 ・坂井輪図書館でもっとPRしてほしい。 ・新聞コーナーにレファレンス専用カウンターでスタッフの方が熱心に対応されていることがよくわかります。 ・カウンタースタッフが本当に気軽に声をかけてくださり、かつ、手早く対応してくださるので、とても利用しやすくなった。
特色ある地域型図書館	◆全館共通評価項目 地域資料の体系的な収集と活用	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・坂井輪図書館では郷土・行政資料を積極的に収集し、8,906冊が9,587冊に増加した。また、郷土に関する展示を行った。	・地域団体の資料や、区役所で作成した資料など、書店で購入できない資料を積極的に収集した。 ・坂井輪図書館では、計画通り郷土・行政資料の収集を行った。 ・黒埼図書館では、継続して山田慶二氏の絵画を展示した。また、追悼コーナーをあらたに設置し、初回は新潟出身の作家である火坂雅志氏を取り上げた。 ・内野図書館では、地元出身の作家である藤沢周氏の展示コーナーを継続して設置した。	3 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 1 評価できない。	・今後もこのベースで収集を積極的に行ってもらいたい。また、資料が有効に活用されるように紹介や説明など展示も行ってほしい。内野図書館の藤沢周氏の展示コーナーには、作家の紹介文、作品の説明文などがあれば良いと思う。 ・今後もぜひ続けてほしい。
	◆館の重点評価項目 郷土・行政資料の収集と整理	坂井輪図書館の郷土・行政資料を積極的に収集する。	・レファレンス等の日常業務の中から、西区に関係する郷土行政資料を発見し、収集を行った。 ・全体で8,906冊だったところ、9,587冊に増加した。	・地域住民からのレファレンスにより、新潟小学校記念誌等の資料の存在がわかり、図書館資料として寄附してもらったことができた。このように、常に地域資料についてアンテナを張り、郷土行政資料を収集することに成功した。	3 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 1 評価できない。	・地域資料の収集への努力の成果が見られた。 ・今後も地域資料の収集に力を入れていってもらいたい。また、紹介や展示により、手に取ってもらえるように工夫して頂きたい。
子ども・社会活動型図書館	◆全館共通評価項目 子どもの読書環境の整備	・ブックスタート事業を継続する。事業の充実を図るため、3歳児健診会場でアンケートを実施するなど、今までのブックスタート事業の検証を行う。	・ブックスタート事業 西区 1,181人に実施、参加率95% (暫定値) ・全市で、ブックスタートアンケートを3歳児健診会場で、8月から10月までの3か月間実施した。「ブックスタートが子どもに絵本をよんであげるきっかけになった」という回答が57%だった。	・ブックスタートが乳幼児期の読書活動の働きかけとして、大きな役割を果たしていることが確認できた。 ・3歳児へのアンケートでは、図書館を利用する親子は半数に満たなかったという結果がでた。親子が気軽に図書館を利用できるよう、「赤ちゃんタイム」や「子どもとみんなの広場」を設置、今後もPRを行っていく。	3 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 1 評価できない。	・子どもの読書週間の定着によって大切な事業であり、成果も見られた。 ・乳幼児期からの読書活動は大変重要な取り組みである。これからも継続して、様々な企画をととして、図書館のPRを行ってほしい。 ・ブックスタート事業はぜひ継続して、より充実してほしい。 ・今後もPRを継続的にを行い、子育て世代に周知を強化してほしい。「子どもとみんなの広場」は子どもたちが非常にリラクスして利用していい空間でした。 ・3歳児健診会場でアンケート実施は、なかなか素晴らしいアイデアかと思います。 ・ブックスタートは大切なことです。図書館は静かにしないといけない所という概念があり、赤ちゃんを連れてなどとても行けないという若い母親の声も聞かれた。
	◆館の重点評価項目 子どもの読書環境の整備	子どもや親子が図書館に来館することに抵抗をなくすため、子どもや親子対象の事業を行う。	・地域のイベントに「おでかけ図書館」として参加し、本の貸出やお借りづくりを行って、子どもと保護者に図書館のPRを行った。 ・子どもと親子対象事業の参加者は、3,772人となった。 ・イベントに参加した親子に、後日図書館に来館してもらえるように、西区の図書館特製の記念品を用意し、イベント参加者の2割程度が図書館に来館してくれた。	・いろいろな小イベント(ハロウィン期間中に折り紙のプレゼント等)をして、子どもたちに、図書館は楽しいところだということを実感してもらえた。 ・「この本だいすき」「なじらねこの本」等参加型イベントを行い、たくさん子どもたちに参加してもらえた。	3 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 1 評価できない。	・これからさらに充実させていく必要がある。 ・親子で気軽に参加できる参加型のイベント、ワークショップを今後も展開して欲しい。また、参加者同士がコミュニケーションを気軽に取りやすいように工夫してほしい。 ・図書館のPRという点では、とても重要な事業なのにあまり知られていない印象。「〇〇へ出張中！」などおでかけ先を館で発表したり、新聞でPRしてみてもどうだろうか。 ・小イベント、参加型イベントの実施など精力的に取り組まれており、高く評価できると思う。
市民参加型図書館	◆全館共通評価項目 ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・ボランティア・教育機関や民間団体等と一緒に事業を行い、市民との協働を推進する。	・地域のイベントに「おでかけ図書館」として参加し、子どもだけでなく大人にも、本の貸出を行った。 ・地域住民や商店等と連携して「大人の部活ミーニング部」、「うちのキッズらんど」等の事業を行った。 ・連携、協働事業の実施件数は31件。	・地域住民を巻き込んだ図書館事業や、地域のイベントへの参加によって、連携事業を行うことができた。 ・自治協議会や商工振興会等との結びつきによって参加依頼がくるようになり、地域に溶け込んできていることがわかった。	3 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 1 評価できない。	・地域との連携を視野に充実した取り組みを行っている。 ・地域のイベント参加や住民参加の事業などの積み重ねで、非常に地域になじんだ親しみやすい図書館になってきているとの印象を受ける。今後も活動を柔軟に、フットワーク軽くなってほしい。 ・公民館の主催事業、西区地域コミュニティコーディネーター養成講座で図書館が関わっている。今後はもっと協働先を増やしてほしい。
	◆館の重点評価項目 民間団体との連携	・団体貸出制度を活用した民間団体等との協働モデル事業を実施し、地域の中に、図書館の本を置き、本を通じたコミュニケーションづくりを行う。	・登録団体数は、12団体。 ・団体貸出の貸出冊数は、10,142冊だったところ、27年度は14,823冊と大幅に増加した。(モデル事業のほか、小中高校やその他の団体も含む)	・この制度を活用した団体以外にも、全体として団体貸出冊数は増加した。 ・司書がセレクトした本を貸し出す方法なので、依頼時にどのような本がよいか要望を聞き取ることで、顔の見える関係ができてきている。	3 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 1 評価できない。	・地域との連携を視野に充実した取り組みを行っている。 ・地域に出ているという姿勢が感じられます。 ・特徴ある試みであるので、告知方法など工夫して事業として拡大してほしい。 ・司書のセレクトの例を紹介して、団体貸出の利用の面白さをPRしてほしい。また、現在利用しているお店などの活用も紹介しながら制度を周知してほしい。 ・団体貸出の大幅増加は「パートナーシップ型図書館」の好事例として、高く評価できると思う。 ・身近なお店に様々な本があり楽しめる。本が生活の中にもっと入っているといいと思う。